

# 埼玉県生協連 2018 年度第 5 回活動委員会

日時 2019 年 4 月 4 日 (木) 13 時 30 分～16 時 00 分  
 場所 埼玉県生協連会議室  
 出欠 別紙参照  
 次第 1.会長理事挨拶 2.出欠報告(事務局)

## ■議題

### I. 話したいこと

1. 活動委員会での意見交換・交流について 事前別冊
  - (1) 学習「2019 年度埼玉県における子どもの貧困に関する取り組み」
  - (2) 会員生協の子ども・子育て支援の取り組み交流
  - (3) 3/7 県内生協組合員学習会(3/7 ふりかえり)
  - (4) 埼玉県生協連 2019 年度取り組み計画 当日別紙

2. 1-2 月活動報告書と各会員生協資料 当日別冊

### II. 日本生協連からの報告(中央地連)

当日別冊

### III. 確認したいこと

1. 2018 年度のまとめと 2019 年度事業計画(2 次案) 事前配布 P 1-11
2. 第 55 回埼玉県消費者大会実行委員会への参加のお願い 当日配布 P 1
3. 福島の子どもの保養プロジェクト(コヨット)今年度の取り組みについて 当日配布 P 2- 3

### IV. 報告したいこと①(事前送付部分は、一括して報告)

1. 消費者関連問題の取り組み関連
  - (1) 消費者に関わる行政や各団体の取り組み 当日配布 P 4
  - (2) 消費者問題シンポジウム in 埼玉報告 事前配布 P12-13
2. 食の安全行政の充実・強化関連
  - (1) 食の安全に関わる行政や各団体の取り組み 当日配布 P 5
  - (2) 2019 年度食品衛生監視指導計画への意見提出 事前配布 P14-19
3. 平和の取り組み関連
  - (1) 埼玉県原爆死没者慰霊式実行委員会参加の呼びかけ 当日配布 P 6- 7
  - (2) しらさぎ会結成 60 周年記念式典報告 事前配布 P20
  - (3) 埼玉県生協連が呼びかけた憲法カフェ実施報告 当日配布 P 8-12
4. 協同組合連携関連
  - (1) 全国の取り組み事例報告 事前配布 P21-22
5. 各テーマの取り組み関連
  - (1) フードバンク埼玉関連 当日配布 P13
  - (2) すべてのくらしは憲法 25 条から 第 3 回埼玉集会ご案内 当日別紙
6. 埼玉消費者被害をなくす会関連
  - (1) 埼玉消費者被害をなくす会この間の取り組みと今後の課題 当日配布 P14
  - (2) 埼玉県からの受託事業報告 当日配布 P15
  - (3) 消費者被害アンケート・めやすばこ調査結果 事前配布 P23-28
  - (4) 消費者力アップ学習会 vol. 3(2/27) 報告 事前配布 P29
  - (5) 埼玉消費者被害をなくす会 第 9 回活動委員会(3/13) 報告 事前配布 P30

### V. 報告したいこと②(文章報告)

1. 埼玉県生協連第 4 回活動委員会(2/28) 報告 事前配布 P31
2. 埼玉県消費者団体連絡会幹事会報告(3/22) 報告 事前配布 P32
3. 活動日誌と予定 事前配布 P33-34

### VI. 参考資料

1. 2019 年度埼玉県予算編成ならびに行政執行に関する要望(回答) 当日別冊

2018年度 第5回活動委員会（4月4日）

メンバーと出欠（敬称略）

生 協 名	氏 名	役 職	出欠	備 考
埼玉県生協連	岩岡 宏保	会長理事	○	
同上	大久保美紀	常務理事	○	
コープみらい	関野 利香	理事	○	
同上	本多 達	参加とネットワーク推進部 部長	○	
パルシステム埼玉	山水磨留美	理事	○	
同上	石川 誠	組織運営部 部長	○	
生活クラブ生協	菊一 敦子	理事	欠	
同上	金津 貴子	役員室	○	
医療生協さいたま生協	磯崎 悦子	常務理事	○	
同上	久保田直生	けんこう文化統括部長	○	代理：村崎郁子
埼玉県労働者共済生協	塩崎 輝幸	事業推進部 部長	○	
東都生協	荒井 伸幸	組織運営部 部長	欠	
事務局	加藤 一彦	事務局長	○	
同上	清水 勤	事務局	○	
同上	清水 桂	事務局	○	
同上	青木 和彦	事務局	○	
日本生協連中央地連	平岡 真治	担当事務局	○	
日本生協連 組合員活動部部長	小林紀久子	オブザーバー	○	
日本生協連サステナビ リティ推進部	前田 昌宏	オブザーバー	○	
生活クラブ生協	穴澤 修	オブザーバー	○	

2019 年 4 月 吉日

県域団体（生協・JA の皆様） 各位

埼玉県消費者団体連絡会

## 第 55 回埼玉県消費者大会実行委員会への参加のお誘い

桜花の候、みなさまにおかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、例年、埼玉県の後援を受けて開催しております「埼玉県消費者大会」の第 55 回大会を、10 月 10 日（木）に埼玉会館で開催する予定です。

この消費者大会は、埼玉県消費者団体連絡会が、毎年、県内の消費者団体などに呼びかけて、実行委員会を結成し、そこで全体会の講演やすすめ方、分科会のテーマやすすめ方などについて内容を協議、確認して開催しています。

今年も多くの団体の参加で実行委員会を運営し、消費者大会がより充実した場になりますよう、貴団体の実行委員会への参加について、ご検討ください。

### 【第 55 回埼玉県消費者大会実行委員会概要】

- 実行委員会を 4 月 23 日（火）に発足します。
- 5 月以降の実行委員会の開催については、第 1 回実行委員会にて話し合っ決めていく予定です。会場はさいたま市内を基本に開催する予定です。
- 大会の運営は埼玉県からの補助金と参加団体からの分担金などで運営します。
- ご参考まで、昨年の消費者大会報告集を同封させていただきました。

実行委員会にご参加いただける団体は、添付データ 3 ページ「確認用紙」に①実行委員会への参加有無、②実行委員会に参加される方のお名前、ご都合のよろしい連絡方法（組合員の方がでられる団体は、連絡窓口の事務局の方と連絡方法についてもお教えください）、③第 1 回実行委員会への参加の有無について、埼玉消団連事務局のメールアドレスへ、4 月 15 日（月）までにお送りください。

第 55 回埼玉県消費者大会を多くの団体のみなさんの参加で成功させたいと考えております。実行委員会へのご参加をお待ちしています。よろしくお願いします。

この件に関するお問い合わせは

埼玉県消費者団体連絡会（埼玉県生協連内）事務局・清水桂までお願いいたします

〒330-0064 さいたま市浦和区岸町 7-11-5 埼玉県生協連内

TEL 048-844-8971 FAX 048-844-8973

E-mail: [shodanren@saitama-k.com](mailto:shodanren@saitama-k.com)

# 2019 コヨット in 埼玉実施提案

2019 年 4 月 4 日 埼玉県生協連事務局

## 1. はじめに

- (1) 「福島の子ども保養プロジェクト」は、子どもたちの被ばく積算量を心配する保護者の気持ちに寄り添い、週末や長期休み期間中に子ども達の屋外活動や、保護者同士の交流、支援者との交流の場を設けることで、子どもと保護者の心身両面からの保養を目指しておこなっています。
- (2) 埼玉でも、埼玉県生協連と埼玉県ユニセフ協会が主催の型式をとり（2014 年までは会員生協を含めた実行委員会形式）、2012 年から実施しています。8 回目となる今年は、埼玉県ならではの長をいかしたテーマパーク（もしくはスポーツ観戦）にて、親子で楽しめる企画を中心に実施を計画します。

※2018 年度勾玉作り・鉄道博物館 11 人参加      2017 年度そば作り・鉄道博物館 16 人参加  
2016 年度和紙作り・鉄道博物館 19 人参加      2015 年度カヌー体験 18 人参加

## 2. 提案

2019 コヨット in 埼玉を 9 月 14 日（土）～15 日（日）の 1 泊 2 日で実施する方向で調整・準備をおこないます。また、宿泊会場についてはテーマパーク（もしくはスポーツ観戦）の会場付近を候補に、絞り込みをおこないます。

名称	2019 コヨット in 埼玉
実施日時	2019 年 9 月 14 日（土）～15 日（日）※調整中
主催	埼玉県生活協同組合連合会・埼玉県ユニセフ協会
協力	日本ボーイスカウト埼玉県連盟（調整中）

- (1) 参加対象は小学 4 年生～小学 6 年生の子どもとその親、募集人数は 15 組 30 人程度（親 1 人、子供 1～2 人）とします。参加費は、大人 7,000 円 子供 5,000 円です。
- (2) 埼玉県ユニセフ協会・埼玉県生協連が主催し、取り組みの内容については、埼玉県生協連、日本ボーイスカウト埼玉県連盟、学生ボランティアで検討会議を持ち、埼玉県生協連の関わり（組合員の参加についてなど）は、活動委員会に報告します。
- (3) 当日運営にあたっては、日本ボーイスカウト埼玉県連盟など、埼玉県内の団体に協力を呼びかけます。
- (4) 参加費を除く、実施に関わる費用については、基本的に埼玉県生協連が全額負担します。予算上限額は、昨年実績と今年度の取り組み内容から検討し、100 万円とします。
- (5) なお、必要となる旅行業法に基づく手配・手続は、㈱コープトラベル東北「コープトラベルみやぎ」を通しておこない、事務手数料を支払います。

## 3. 提案の補足

当日の運営は埼玉県生協連職員が責任を持ち、埼玉県ユニセフ協会、日本ボーイスカウト埼玉県連盟でおこないます。期間中に子ども達の健康管理をサポートいただく看護師の方については、医療生協さいたまへ派遣を要請する予定です。

# 埼玉エリア 活動実施報告書

\*活動実施後速やかにブロック事務局にご提出ください。

2017年3月版

報告の種類 (該当する項目にシ点)	<input checked="" type="checkbox"/> ブロック企画		<input type="checkbox"/> 商品学習交流会		
	<input type="checkbox"/> 産地・工場見学		<input type="checkbox"/> その他 ( )		
ブロック名	南部	記入者	福岡	記入日	2019年2月27日(水)
取り組み・企画名	農法カフェ				
テーマ (該当する項目全てに○)	食育	くらし	子育て	高齢者	環境
	商品コミュニケーション		減災	消費者	その他(くらし)
日程・時間	2019年2月27日(水) 10時～12時30分				
場所(会場)	ジョイプラザ浦和 2階会議室1.2				
参加人数	参加者: 大人 23人 (運営に関わったブロック委員除く) 子ども 人 お取引先・講師 2人 職員 2人 ブロック委員 5人 (運営に関わった方) 合計人数 32人				
「託児」	1人 / 子育てサポーター 2人 (上記、参加人数に含まず記入)				
取り組みの目的方針・重点課題と照らし合わせて記入します くらしに関する農法について、基本から学び情報を得る機会を作る。					
内容について ・「農法って何かに?」の資料を使い、農法について学習しました。 ・学習後、質疑応答を兼ねた交流					
試食内容 お好み種、コーヒ、緑茶、 3種のナッツケーキ、五三塊わすら、紅茶、水	会計	収入	支出 6,599 円		
参加者の声の特徴・農法がとて身近に感じました。 ・無感でいてはダメの風潮で参加したのが、多くの気づきがあった。 ・とて分かりやすくいろいろな事を知ることができた。 ・お話をどんどん引きこまれている。勉強になりました。 ・ポイントを考えていって農法について 深く考えて行いたいと思います。 ・小さいうちから勉強できる機会があると					
ふりかえり(目的と照らし合わせ、結果どうだったか。見えてきた地域のニーズと今後の取り組みに活かすことなど) ・農法について分かりやすく伝えることができた。 ・笑をまじえ、リラックスして学習することができた。					
運営面について(工夫したことや改善が必要なこと、レジュメの準備不足でした。 ・試食を出す際は、食べるタイミングをご案内する ・分散交流が出来るとよかった。 ・第2回、第3回と開催してほしいという声がありました。 ・ブロックニュースを見せたい参加者がいました。					
声のデータベース(できるだけ具体的に。商品名は正確に記入します。) ・1年満のお子さん同様にしたい。講師を集中して聞く感じの。					
工夫が必要かもしれません。 回答(要・不要)					

ブロック事務局	
2月27日	(富田)



埼玉県本部	
月 日	




コープネット	
月 日	

## 埼玉エリア 活動実施報告書

\*活動実施後速やかにブロック事務局にご提出ください。

2017年3月版

報告の種類 (該当する項目にシ点)	<input checked="" type="checkbox"/> ブロック企画		<input type="checkbox"/> 商品学習交流会		
	<input type="checkbox"/> 産地・工場見学		<input type="checkbox"/> その他( )		
ブロック名	東南ブロック	記入者	鷲川裕子	記入日	2019年 3月 8日(金)
取り組み・企画名	子育てママのはじめての憲法カフェ♪				
テーマ (該当する項目全てに○)	食	食育 商品コミュニケーション	くらし	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て	高齢者
				環境	<input checked="" type="checkbox"/> 平和
				減災	消費者
				その他( )	
日程・時間	2019年 3月 6日(水) 10時 30分 ~ 12時 40分				
場所(会場)	コ-ププラザ越谷 1階 クッキングルーム				
参加人数	参加者: 大人 11人 (運営に関わったブロック委員除く) 子ども 1人 お取引先・講師 1人 職員 人 ブロック委員 3人 (運営に関わった方) 合計人数 16人				
「託児」	人 / 子育てサポーター 人 (上記、参加人数に含まず記入)				
取り組みの目的(方針・重点課題と照らし合わせて記入します) ・憲法について講師の先生から詳しくお話を頂き理解を深める。 ・組合員の交流					
内容について 日本国憲法の中身、今の政治の流れ、憲法の戦争をなくす考え方、政治とは-忘れないで欲しい視点、子どもの貧困や教育に力を入れなくてはならない理由、憲法改正、国民主権・権力が暴走しないためには、私達が出来ることなど。講師に2時間たっぷりとお話頂きました。手元資料を見ながらの講義。講演終了後に本の販売。					
試食内容	・ショコラケーキ	・ミックスナッツ	会計	収入	支出
	・アールグレイ紅茶	・ドリップコーヒー		円	3767 円
参加者の声の特徴 子供の将来と憲法は無関係ではないという話を聞き改めて憲法を身近なものに感じた。日本国憲法は権力を縛るための法律であることをわかりやすく教えて頂きよく理解できた。自分たちの幸せな未来のために政治にもっと目を向けたいと思った。今の政治が向かっている流れに恐怖を感じた。私たち一人一人がもっと政治に関心をもつべきだと思った。					
ふりかえり(目的と照らし合わせ、結果どうだったか。見えてきた地域のニーズと今後の取り組みに活かすことなど) 先生のお話が2時間の長い講演でしたが参加者の方はずっと真剣に聞き入っていました。アンケートも全員の方から「参考になった、良かった」との回答があり、とても良い企画だったことがわかった。一般の参加者が少なかったのは残念だった。ポスターの作成や多方面への告知が出来ればもっと参加者も増えたのではと思った。次回はもっとお知らせ方法を工夫したい。					
運営面について(工夫したことや改善が必要なこと) 講演の時間を2時間取るタイムスケジュールだったため、受付ですぐにお茶とケーキをお出しし、休憩をはさまない事、お茶のおかわり等各自自由に取って頂く事のアナウンスをした。結果時間短縮になりスムーズに進めることが出来た。小さなお子さんを連れて参加する方がいたので、あらかじめマットで遊ぶスペースを作った。					
声のデータベース(できるだけ具体的に、商品名は正確に記入します。)					
回答( 要 ・ 不要 )					

ブロック事務局	
3月6日	



埼玉県本部	
月 日	

コ-プデリ連合会	
月 日	

# 埼玉エリア 活動実施報告書

\* 活動実施後速やかにブロック事務局にご提出ください。

2018 年 3 月版

報告の種類 (該当する項目に○)	<input checked="" type="checkbox"/> ブロック企画		<input type="checkbox"/> 商品学習交流会				
	<input type="checkbox"/> 産地・工場見学		<input type="checkbox"/> その他 ( )				
ブロック名	中部ブロック	記入者	水野	記入日	2019 年 3 月 11 日 ( 月 )		
取り組み・企画名	憲法カフェ						
テーマ (該当する項目全てに○)	食	食育	くらし	子育て	高齢者	環境	平和
		商品コミュニケーション		減災	消費者	その他 ( 憲法の話 )	
日程・時間	2019 年 3 月 9 日 ( 土 ) 10 時 00 分 ~ 12 時 00 分						
場所 (会場)	コーププラザ大宮 3 階 第 2 会議室						
参加人数	参加者: 大人 22 人 (運営に関わったブロック委員除く) 子ども 1 人 お取引先・講師 1 人 職員 1 人 ブロック委員 3 人 (運営に関わった方) 合計人数 28 人						
「託児」	人 / 子育てサポーター 人 (上記、参加人数に含まず記入)						
取り組みの目的 (方針・重点課題と照らし合わせて記入します) 普段あまり意識しない憲法について、若手弁護士からやさしく解説していただき、お茶を飲みながら交流します。							
内容について 明日の自由を守る若手弁護士の会 弁護士の堅 十萌子さんによる憲法についての学習会。 「憲法ってなあに？」の紙資料や日本国憲法が記載されているクリアファイルを使用しながら、私たちの生活に関連した 条文をあげてわかりやすく解説をしていただく。							
試食内容	COOP リッチブレンドコーヒー	会計	収入	支出			
	COOP クオリティフルーツパウンドケーキ		0 円	3,178 円			
参加者の声の特徴 ・生活保護費が福祉費の基準となっているなど初めて知りました。無知とは大変恐ろしいものだと思います。 ・堅先生のお話を以前聴く機会があり、帰ってから家族と話し理解を深めました。また、繰り返し聴きたいと思います。							
ふりかえり (目的と照らし合わせ、結果どうだったか。見えてきた地域のニーズと今後の取り組みに活かすことなど) ・憲法の話は敷居が高く、ニーズがあるか心配だったが、若手弁護士や堅先生の活動を知っている方も多く、参加申し込みが思ったよりあった。当日の欠席者もなく、また参加者からは質問も多く寄せられたので関心の高さを感じた。							
運営面について (工夫したことや改善が必要なこと) ・エリアでの開催情報を事務局を通して共有できたので、休憩なしで 2 時間丸々学習会、試食は初めに提供するなど確認ができてよかった。ただ、ブロックからのお知らせをするのに時間延長になったことで退室される方もあり、そちらの時間も考慮しスケジュールを組みたかった。 ・土曜開催にしたことで、普段参加されない方も参加が可能になったのではないと思う。							
声のデータベース (できるだけ具体的に。商品名は正確に記入します。)							
回答 ( 要 ・ 不要 )							

ブロック事務局
3月14日 高橋



埼玉県本部
月 日



コープネット
月 日

# 埼玉エリア 活動実施報告書

\*活動実施後速やかにブロック事務局にご提出ください。

2018年3月版

報告の種類 (該当する項目にシ点)	<input checked="" type="checkbox"/> ブロック企画		<input type="checkbox"/> 商品学習交流会		
	<input type="checkbox"/> 産地・工場見学		<input type="checkbox"/> その他 ( )		
ブロック名	埼玉東北	記入者	小澤早苗	記入日	2019年3月18日(月)
取り組み・企画名	ようこそ、憲法カフェへ				
テーマ (該当する項目全てに○)	食	食育	子育て	高齢者	環境
	商品コミュニケーション	くらし	減災	消費者	その他(憲法)
日程・時間	2019年3月18日(月) 10時30分～13時00分				
場所(会場)	コ-ポ-ラザ春日部				
参加人数	参加者:大人 25人 (運営に関わったブロック委員除く) 子ども 2人 お取引先(講師) 1人 職員 1人 ブロック委員 5人 (運営に関わった方) 合計人数 34人 萩原 伊藤 鈴木 増山				
「託児」	3人 / 子育てサポーター 3人 (上記、参加人数に含まず記入)				
取り組みの目的(方針・重点課題と照らし合わせて記入します) くらしをとりまく多様な課題の1つである憲法学習会を開催し、憲法について身しく知ってもらう。 組合員同士の交流を図る。総代選出につながる様な機会とする。					
内容について 皆さんの用意された「憲法って何かに?」に沿ってクイズも交えながら日本憲法について学習しました。 ・日本国憲法の由り、中身・今の政治の法律制定の流れ・戦争やテロを無くすためには? ・思想良心の自由など・生活保護費=国が見た国民の価値と金額化・子どもの貧困や教育に力を入れたい ・9条に自衛隊を加えると...・権力が暴走しないためには、などを例をあげて分かりやすく話していただきました。 12:30に5分間の休めを入れ、その後再開し、12:55まで話されました。カフェにしたのでお茶やコーヒーも自由に飲めるようにし、ケーキも1人1個用意しました。					
試食内容	・レアチーズケーキ ・レアブレッドセロン紅茶 ・ギリマンジャロブレッドレギュラーコーヒー	会計	収入	支出	
			0円	5,687円	
参加者の声の特徴 ・時間が短くて残念。複数回にすればどうだろう。・とても勉強になりました。・いかに日本国憲法が大切かよく分かった。 ・ためになる話を分かりやすくしてもらえた。・日本国憲法のありがたさを改めて痛感。・今後ビラやパンフレットを具体的に分かった。 ・進行が早いのでは、ふり時間が短かった。・とても有意義な時間。子ども達が生き生きとした明るい社会になるように今自分から					
ふりかえり(目的と照らし合わせ、結果どうだったか。見えてきた地域のニーズと今後の取り組みに活かすことなど)でできることを考えおと思った。 皆さんの詳しい解説にほとんどの方が、時間が足りない、又参加したいという 納得し、満足されていました。感想もあつたのでチャンスがあれば 結果、憲法について、今起きていることについて こう言え学習会の企画にまた 取り組むことに。					
運営面について(工夫したことや改善が必要なこと) ・託児の準備、確認を忘れてしまった。(マツが足りなかった)事前に打ち合わせが必要だった。 ・参加人数が多い時は紙コップや紙皿、インスタントコーヒーでも可ではないのか? ・ショッパでした。のほほんとした雰囲気の中、お茶やコーヒーを飲みながら、憲法について話している場が、 大勢で学ぶべき内容					
声のつづき(※)スレでできるだけ具体的に商品名は正確に記入もします。 ・赤ちゃんと連れる方に授乳、オムツ替えの声かけと萩原さんが気づいて下さりました。回答(要・不要)					

ブロック事務局
3月20日 (福地)

埼玉県本部
月 日

コ-ポ-デリ連合会
月 日



# 埼玉エリア 活動実施報告書

**\*活動実施後速やかにブロック事務局にご提出ください。**

2018年3月版

報告の種類 (該当する項目にシ点)	<input checked="" type="checkbox"/> ブロック企画	<input type="checkbox"/> 商品学習交流会
	<input type="checkbox"/> 産地・工場見学	<input type="checkbox"/> その他( )
ブロック名	北部	記入者 蛭川
	記入日	2019年3月21日(木)
取り組み・企画名	憲法カフェ	
テーマ (該当する項目全てに○)	食	子育て
	食育	高齢者
	商品コミュニケーション	環境
	(5L)	平和
	減災	消費者
		その他( )
日程・時間	2019年3月20日(水) 10時30分~12時30分	
場所(会場)	コーププラザ深谷	
参加人数	参加者:大人 15人 (運営に関わったブロック委員除く) 子ども 人	
	お取引先・講師 1人 職員 1人	
	ブロック委員 16人 (運営に関わった方)	
	合計人数 33人	
「託児」	1人 / 子育てサポーター 2人 (上記、参加人数に含まず記入)	
取り組みの目的(方針・重点課題と照らし合わせて記入します)		
・広く日本国憲法について学ぶ場作りをする。		
・参加する方にブロック委員の活動を知ってもらい、次の参加につなげる。		
内容について		
・資料「憲法ってなあに?」をもとに、日本国憲法のイロハから、大日本帝国憲法との相違点、今の政治(法律制定)の流れなどを踏まえて、憲法は生活に密接に関わっていることを講義していただいた。		
・質疑応答の時間はとれなかったが、書籍の紹介と販売を通して、多くの参加者が講師と会話を交すことができた。アンケート記入の時間を確保した。		
試食内容	CO-OP 朝ごはんロールケーキ CO-OP 朝ごはんチョコレート CO-OP ひよこチョコ CO-OP 朝ごはんチョコレート CO-OP セイロン茶 CO-OP ユーレバクワカボレバ CO-OP 朝ごはんチョコレート CO-OP 朝ごはんチョコレート CO-OP 朝ごはんチョコレート	支出 3389円
参加者の声の特徴・憲法について分かりやすいお話しで、とても楽しく聞けることができた。		
・パワーあふれるお話しに圧倒され、のぼんとしていた自分がほっとした。		
・ほんやりと疑問を持っていたことが晴れやかになり、安心感がある。		
・もっと憲法を知り、関心を持ってほしいと思った。今日学んだことを周りの人に伝えていきたい。		
ふりかえり(目的と照らし合わせ、結果どうだったか。見えてきた地域のニーズとき後の取り組みに活かすことなど)		
・コープみらいがうのお知らせは受付で伝え、試食説明も簡単にして講義の時間をとることができたのは良かった。予定より10分以上オーバーしたが、最後まで参加者の意識は集中していて、有意義な講義を喜んでおられた。感動と感謝が書籍販売につながった。		
・アンケート記入の時間を設けたことで、たくさん感想を書いた方が多かった。		
運営面について(工夫したことや改善が必要なこと)・講師を岡田さんにお願いし、机配座にしたのはよかった。		
・カフェの雰囲気作りのため、各テーブルにお花を飾ったり、ポットを用意して自由に飲み物を飲んでもらったのは、場が和み講義に集中できてよかった。		
・テーブルのゴミ入れなど、飲んだ場面でのジェスチャーが足りなかった。		
今後の課題・次回はさらに具体的に、商品名を正確に記入してほしい。		
雪印メグミルクの時もお土産を見せようとした方はいなかった。お土産をどこにどのように見ればいいのか、ブロック委員全員に分かるようにするのはいいかなと思います。		

ブロック事務局  
3月25日 納見

埼玉県本部	
月 日	

コープデリ連合会	
月 日	

## 2019 コ요ット開催提案 メモ

15組 35人 (大人 15人 子供 20人) +事務局 (大人 9人)

### 【企画】

1日目:「ムーミンバレーパーク」

「メッツァビレッジ」

2日目:「鉄道博物館」

### 【費用】

バス 300,000 円

宿泊施設 ニューサンピア埼玉おごせ

1人: 大人 13,500 円 (税込) 子供 9,180 円 (税込)

$(13,500 \text{ 円} \times 24 \text{ 人}) + (9,180 \text{ 円} \times 20 \text{ 人}) = \underline{507,600 \text{ 円}}$

ムーミンバレーパーク

1人: 入園料大人 1,500 円 子供 1,000 円

$(1,500 \text{ 円} \times 24 \text{ 人}) + (1,000 \text{ 円} \times 20 \text{ 人}) = \underline{56,000 \text{ 円}}$

鉄道博物館

1人: 入園料大人 1,040 円 子供 480 円 (団体割引)

$(1,040 \text{ 円} \times 24 \text{ 人}) + (480 \text{ 円} \times 20 \text{ 人}) = \underline{34,560 \text{ 円}}$

昼食代 (2日目) お昼 1,000 円  $\times$  1回  $\times$  44人 44,000 円

その他 (体育館、飲み物、医薬品等) 10,000 円

費用合計: 952,160 円

★未計上: アトラクション 4つ 700 円 ~ 1,500 円      ムーミンバッジ作り 500 円

### 【参加費】

1人: 大人 7,000 円 子供 5,000 円

$(7,000 \text{ 円} \times 15 \text{ 人}) + (5,000 \text{ 円} \times 20 \text{ 人}) = \underline{205,000 \text{ 円}}$

収入合計: 205,000 円

# 消費者に関わる行政や各団体の取り組み

2019年3月22日 埼玉県消費者団体連絡会

## 1. 災害復興支援交流会「災害から学ぶ地域支援のあり方」が開催されました

2月22日、日本生協連主催による災害復興交流会が開催され全国の生協が参加しました。2018年度は全国で自然災害が多く発生し、甚大な被害となり、その体験や教訓から学び課題を共有しました。また、災害に備えるために生協でできることを、地域支援の視点からも考え合いました。

## 2. 「社協と生協つながりづくり～お互いを知り顔の見える関係づくり～」が開催されました

3月4日、日本生協連主催による「社協と生協つながりづくり～お互いを知り顔の見える関係づくり～」第5回公開セミナーが開催され、全国の生協・社協が参加しました。社協の「福祉のまちづくり」の取り組みや生協の「居場所づくり」の取り組みなど、お互いの活動の事例報告。それを受けて、地域連携や共生社会づくりに向けたグループワークをおこない、それぞれの団体が持つ強みや課題を出し合い一緒にできる活動について交流しました。

## 3. 厚生労働省が児童虐待防止法と児童福祉法の改正案を提示しました

厚生労働省は今国会提出を目指している児童虐待防止法と児童福祉法の改正案に、学校や教育委員会、児童福祉施設の職員などが、子供の秘密を漏らしてはならないとの守秘義務を課す内容を検討しています。「正当な理由なく、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない」と規定する方針としています。改正案では、虐待対応に当たる児童福祉司の任用要件を、相談業務に従事した経験を課すなど厳格化し、改正法施行後も国家資格化を含めた資質向上策の検討を続けるとしています。児童虐待の早期発見のため、DV対応機関との連携を強化し、子供の意見をくみ取る「アドボケイト（代弁者）」制度の構築も検討しています。

## 4. 消費者庁は食品ロスにしない「備蓄のすすめ」と「備蓄食品に関する事例」を公表しました

2011年3月の東日本大震災から8年が経過し、消費者庁は「備蓄のすすめ」と「備蓄食品に関する事例」を公表しました。ふだん使いで簡単備蓄、備える⇒食べる⇒買い足すのローリングストック法により、賞味期限切れの食品ロスを防ぐ基本から、家庭や学校で備蓄食料を美味しく食べる事例を紹介しています。

## 5. 処分情報 消費者庁など

### (1) 株式会社ライフサポートに関する景品表示法に基づく措置命令について

消費者庁は同社が供給するおせちの表示について、景品表示に違反する行為が認められたので措置命令を行いました。ウェブサイトにおいて、「年末セールお急ぎください」など歳末特別価格としてあたかも通常価格より安いと表示して、「無くなり次第終了」と価格記載をしていました。

### (2) 株式会社エー・ピーカンパニーに対する景品表示法に基づく課徴金納付命令について

消費者庁は、株式会社エー・ピーカンパニーに対し、同社が供給する「チキン南蛮」及び「月見つくね」と称する料理に係る表示について、景品表示法に基づき、課徴金納付命令を行いました。本件料理はプロイラーを、使用していたにもかかわらず、あたかも宮崎産地鶏を使用しているかのように表示をしていました。

### (3) 株式会社TSUTAYAに関する景品表示法に基づく措置命令について

消費者庁は同社が配信する動画配信サービスに関する表示について、景品表示法に基づき、課徴金納付命令を行いました。動画見放題プランや定額レンタルに於いて、人気ランキングや近日リリースのすべてが見放題プランの対象ではなく、定額レンタル8を契約してもすべての動画が条件なく見放題となるものではなかった。

# 食の安全に関わる行政や各団体の取り組み

2019年3月22日

埼玉県消費者団体連絡会

## 1. この間の動きと取り組み（消費者庁・埼玉県）

### (1) 2023年4月より「遺伝子組換えでない」表示を厳格化 改正案のポイント

豆腐や納豆などで見かける「遺伝子組換えでない」という表示。多くの方が「遺伝子組換えが全く入っていない」と思うかもしれませんが、現在は5%まで「意図せざる混入」が認められています。消費者庁はこの点を見直し、2023年4月より「遺伝子組換えでない」表示の条件を厳しくする方針をまとめました。

- 「遺伝子組換えでない」と表示できるのは「不検出」の場合のみ

今回の改正は、2017年度の消費者庁「遺伝子組換え食品表示制度に関する検討会」の結論を受けたものです。検討会では義務表示の表示対象品目等は現行制度のままとし、任意表示の「遺伝子組換えでない」という表示について、現行制度の「5%以下」から「不検出」とすることを決めました。

- 5%以下に分別管理をしている場合の表示事例

これまで意図せざる混入率 5%以下で分別管理を行ってきた商品で「遺伝子組換えでない」に代わる表示をどうするかという点や、義務対象表示品目以外でしょうゆ等に「遺伝子組換えでない」と表示する場合についても、社会的検証に加え「科学的検証の手法で原材料の大豆やとうもろこしにおいて遺伝子組換え農産物を含まないことを確認する」としています。また、「肉牛は遺伝子組換えでない飼料で育てました」という表示も「不検出」のレベルは同じであるとしており、これらの品目でも、今後は正確な表示が求められます。

- 施行は2023年4月から 移行措置期間はどうか

今後のスケジュールについて、消費者庁は改正食品表示基準について来年以降公布し、表示切替えのための準備期間を経て平成35年4月1日に施行すると説明しています。その日以降に製造・加工・輸入されるものについては、新たな遺伝子組換え表示制度に基づく表示としなければならないとする案が示されています。

### (2) 消費者庁は、グリコと明治に「母乳代替液体ミルク」を初許可

江崎グリコと明治は5日、自社が製造する液体ミルクについて、消費者庁から「乳児用」「母乳の代替食品として使用できる」と表示して販売する許可を受けたと発表しました。グリコは、国内メーカーとして初めて、自社のインターネットのサイトで販売を開始、全国の店頭で販売する。明治も商品を発表する。消費者庁の許可は健康増進法に基づくもので、液体ミルクに「乳児用」などの表示を認めるのは初めてとなります。「母乳代替液体ミルク」は、常温でも長期保存が可能で、東日本大震災や熊本地震、昨年9月に発生した北海道の地震でも海外製品が救援物資として送られた実績があります。

## 2. 埼玉県が「S-GAP 実践農場 2020」を創設し普及をすすめる

GAP(よい農業のやり方)は、食品安全(食べる人の安全)、労働安全(作る人の安全)、環境保全(地球環境の保全)のために、守るべきルールにもとづいて農業経営を実践する取り組みです。東京オリンピック・パラリンピックでは農産物調達基準としてグローバルGAPもしくはアジアGAPの認証取得を満たしていることが条件となっています。埼玉県では2014年に独自の規格である「S-GAP」を策定し、県内農業者に普及をおこなってきましたが、東京オリンピック・パラリンピックの農産物調達基準を満たしていないことから、あらたに適合した評価規格として「S-GAP 実践農場 2020」を創設しました。食品安全、労働安全、環境保全それぞれに配慮した持続的な農業経営を更にひろめるとともに、埼玉県農産物の東京オリンピック・パラリンピックでの活用を目指して、取り組みをすすめるとのことです。

関係団体 各位

埼玉県原爆被害者協議会  
埼玉県地域婦人会連合会  
埼玉県生活協同組合連合会  
原水爆禁止埼玉県協議会  
埼玉県平和運動センター

### 第34回埼玉県原爆死没者慰霊式実行委員会への参加のお願い

花冷えの候、貴団体におかれましては、ますますご清栄のことと存じます。

埼玉県原爆死没者慰霊式は、被爆者のみならず、埼玉県民の行事として定着させたいとの想いから、企画・運営を担当する実行委員会をつくり、埼玉県原爆被害者協議会（しらすぎ会）に協力する形で実施しています。そして今年も、同様に開催することを上記5団体で確認をいたしました。

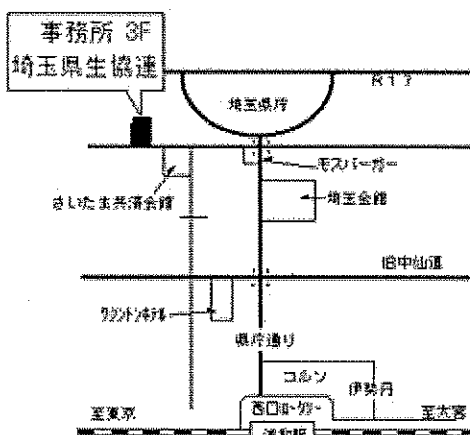
昨年の第33回慰霊式は、多くの団体の協力を得て、7月29日（日）さいたま市浦和コミュニティセンター多目的ホールで執りおこなわれました。式典では、埼玉県知事・さいたま市長のメッセージをはじめ多くのご来賓と多数の参加者のもと、原爆で犠牲になった皆さんに哀悼の意を表するとともに、核兵器廃絶の想いをあらたにしました。

来年は被爆75周年、NPT 再検討会議と大きな節目が続きます。今年の慰霊式を、多くの皆さんの主体的な関わりによって成功させ、来年につなげる力にしたいと考えています。

大変お忙しいことと思いますが、被爆者の願いをお汲み取りいただき、第34回埼玉県原爆死没者慰霊式実行委員会へのご参加をお願い申し上げます。

なお、実行委員会への参加の可否、参加される方は第1回実行委員会への出欠連絡を、別紙 FAX にて、5月8日（水）までにご連絡ください。

記



#### 第 34 回埼玉県原爆死没者慰霊式第 1 回実行委員会

日時：2019 年 5 月 15 日（水）14 時～15 時

場所：埼玉県生協連・会議室（1 階）

内容：前回報告、第 34 回慰霊式のイメージ、  
スケジュール、その他

#### <事務局>

埼玉県生活協同組合連合会（加藤）

住 所 〒330-0064

さいたま市浦和区岸町 7-11-5

電 話 048-844-8971

〒330-0064 埼玉県さいたま市浦和区岸町7-11-5  
電 話=048-844-8971  
FAX=048-844-8973

埼玉県生活協同組合連合会

## 第 34 回埼玉県原爆死没者慰霊式実行委員会への参加について

※ご連絡は、5月8日（水）までをお願いします。

2019 年    月    日

平和市民 5 団体懇談会事務局 加藤 宛て

団体名	
-----	--

1. 実行委員会に

☐

参加します （次の 2・3・4 の設問にもご記入ください）

☐

参加しません

2. 実行委員として参加される方のお名前

3. 実行委員メールアドレス

4. 第 1 回実行委員会の出欠

☐

出席

☐

欠席

☆第 1 回実行委員会は☆

日時 2019 年 5 月 15 日（水） 14 時 00 分～15 時 00 分

会場 埼玉県生協連・会議室（1 階）

この間の主な動き

1. 第3回定期総会開催について

4月25日(木)15時～ときわ会館にて

2. 事務局会議開始について

→労福協に、もしくはフードバンク埼玉理事・事務局に集中していることを少しずつでも複数で共有して、分担してすすめていくことをめざしていく

第1回事務局会開催(4/2)

参加者：理事永田さん、ワーカーズコープ北関東事業本部石川さん、ワーカーズコープふじみ野市地域福祉事業所飯沼さん、連合埼玉近藤さん、県生協連清水

(1) 課題確認

- ・フードドライブの継続・・・生活困窮者にむけてメインはアルファ米やサバイバルパン、それと組み合わせるおかず類(缶詰等)が求められている  
こども食堂にむけてはみそ・しょうゆ・油などの調味料類・お菓子・カレー等が求められている
- ・賛助会員・寄付者拡大にむけて・・・医療生協さいたまの取り組み
- ・ボランティアへの交通費・謝金の対応について 検討中(ボランティア保険についても考慮)
- ・フードバンク拠点の整備・・・川口市労働会館閉鎖その後については市からの話はなし。川口近辺(戸田・蕨含め)で探し中。別途、さいたま市大宮図書館跡地をNPOやフードバンクが活用できないか打診中 ときわ会館では大量に荷物が入る時は対応できない、フォークリフトなどを使えないなど、もろもろ問題あり。
- ・イベント時の要員要請 昨年のドリームフェスタのように各団体によびかけていく(これまでは労福協の人員に頼りきり)

(2) 今後について

- ・賛助会員や寄付をよびかけるために、早急にリーフレット・パンフレット類を作成する必要あり。準備中
- ・大量に食品が寄せられた時の活用先について随時相談していく(これまでは理事・事務局の範囲での対応)  
例) アレルギー対応粉ミルク、大量の野菜(にんじん)など

3. 埼玉県生協連として

会員生協に向けて、改めてフードドライブや賛助会員・寄付のよびかけをおこないます。

## 埼玉消費者被害をなくす会 この間の取り組みと今後の課題

2019年3月29日 事務局

### 1. 概況

会員状況→正会員 128(団体 18・個人 110)、賛助会員 51(団体 8・個人 43)

### 2. 差止請求関係・被害回復関係

- (1) 3月29日時点での当会の取り扱い事案は、差止請求に関するものが、訴訟2件、申入れ6件、申入れ準備0件、問合せ13件、新規・取扱い検討14件の合計35事案。被害回復に関するものが、申入れ準備1件、問合せ0件、新規・取扱い検討2件の合計3事案となっています。
- (2) ㈱NTT ドコモに対する差止請求訴訟で最高裁判所に上告理由書・上告受理理由書を1月30日に提出したところ、3月8日に記録到着通知書が届きました。
- (3) ㈱ディー・エヌ・エー（モバゲー）に対する差止請求訴訟の第6回裁判日（期日）が、5月10日（金）16時30分さいたま地裁で行われます。（弁論準備のため傍聴不可）
- (4) ㈱トーソーコンストラクションに対する差止請求訴訟の第3回裁判日（期日）が、3月18日（月）11時さいたま地裁で行われました。当会からの申入れ事項が改善された事を確認し、和解が成立しました。
- (5) 3月2・3日に適格消費者団体連絡協議会（広島）が開催され、当会から4名が参加し、当会の差止請求訴訟事案等を報告しました。また、専門委員会と役員・事務局と役割別に集まり、他団体との意見交換や交流をはかりました。

### 3. 活動委員会

- (1) 引き続き、景品表示法などの「法律にとらわれない消費者目線」を大切にして、活動をおこなっています。3月の活動委員会では、先月に引き続き通販ショップやシミ取り専門サロンからの回答などについて意見交換をしました。
- (2) 「2018年度消費者被害アンケート・めやすばこ」を13ヵ所で実施しました。今年は「このトラブル、知ってる？知らない？」と題して行い、1,626枚ご協力いただきました。アンケートは、集計が終了し傾向等分析を行いました。

### 4. 今後の予定

- 4/18 4月活動委員会
- 4/22 日本生命保険相互会社との懇談会
- 4/22 理事会・検討委員会

### 5. その他

第16回通常総会日程が確定しました。

2019年6月25日10時00分 浦和コミュニティセンター 第15集会室



# 埼玉県受託事業報告（3月度）

2019年3月29日

埼玉消費者被害をなくす会 青木和彦

## 1.消費者被害サポーター活動推進事業(サポーター登録累計735人)

### (1)消費者被害防止サポーター養成講座

3月3日(日)生活クラブ生協の協力で 越谷生活館にて開催。5名が受講し、5名の方がサポーターに登録されました。

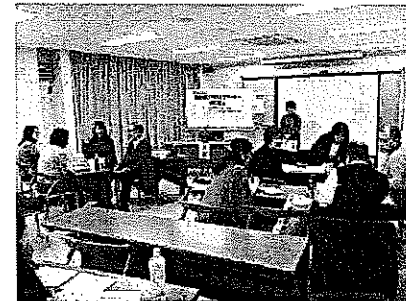
- 年々巧妙、悪質化の傾向にあるので、新しい情報の素早いキャッチが必要だと思います。
- 小さなことも無視せず相談にあげると、被害防止に役立つことがわかりました。
- 少人数の受講でもったいないなと思いました。
- 県内の状況や具体例を学べて大変参考になりました。



### (2)消費者被害防止サポーター養成講座

3月7日(木)パルシステム埼玉の協力で、蕨市民会館にて開催。9名が受講し、9名がサポーターに登録されました。

- 事業者と知識の格差が起きているから、被害にあっても恥ずかしいことではないということを、まず、自分の身近な人達に伝えたい。
- 実際、自分が被害にあっていたことに気がつきました。
- 手口を知ることが自分の身や身近な人を守ることを今日、痛感しました。



### (3)福祉見守り担当者講座

①2018年度福祉見守り担当者講座は、2月28日の開催をもって6回の企画がすべて終了しました。この講座は、日常的に高齢者と接する機会の多い福祉関係者や民生委員、自治会関係者などに消費者被害の現状や手口を知ってもらい、高齢者への啓発と被害の早期発見、消費生活センターにつなぐことを目的に開催し、6回の講座で242名が受講されました。

②また、市町村へ訪問で福祉見守り担当者講座の開催案内を進める中で、2時間の講座の設定は厳しいが、消費者安全確保地域協議会設置に向け、既存の見守りネットワークの構成メンバーに対し、消費者被害の状況や手口、被害者の早期発見と対応のあり方について研修を行いたいとの要請があり、なくす会が講師となって福祉見守りミニ講座として2市1町で開催し、106名が受講されました。

## 2.高齢者等見守り促進事業(2018年度市町村訪問 累計44回)

3月訪問:13日鶴ヶ島市、14日富士見市、新座市、18日羽生市

3月は4市を訪問し、行政とサポーターの連携状況や消費者安全確保地域協議会の設置検討状況について懇談し、また2019年度のサポーター養成講座や福祉見守り担当者講座の開催とサポーターとの連携について協力を依頼しました。2018年度は30市・町を延べ44回訪問し、埼玉県から受託した高齢者等見守り促進事業を完了しました。

## 3.インターネット適正広告推進事業

### (1)＜インターネット広告調査＞

①2018年度インターネット広告適正促進事業は3月15日をもって終了し、2018年6月～2月までの期間に11,840件検索し、不当表示と思われる177事業者を埼玉県に報告しました。

## 4.今後の課題

- ①埼玉県への2018年度受託事業の完了届け ②2018年度決算および2019年度予算(案)作成
- ③2019年度に向けた受託事業実施スケジュールと講座内容の確定

活動委員会用 単協組織・事業活動報告書（県生協連行き）

3 月度

1. 組織活動報告

（1）主な組合員活動等（2 月 28 日～4 月 4 日）

生協名	生活協同組合コープみらい
報告者	本多 達

月日	会議・催事など	参加人数・活動内容・特徴など
3 月 9 日	<p>コープみらい地域かがやき賞・かがやき大賞合同表彰式</p> 	<p>コーププラザ秋葉原（東京都千代田区）で開催され、受賞 9 団体に表彰、副賞が贈呈されました。「コープみらい地域かがやき賞」「コープみらいかがやき大賞」は、コープみらい財団が千葉県、埼玉県、および東京都内で豊かな地域社会づくりのために活動している市民団体を応援するために設けた表彰制度です。2018 年度は「コープみらい地域かがやき賞」に 77 団体からの応募があり、地域の課題解決のために優れた活動・事業に尽くしている 9 団体を選出しました。また 9 団体の中から、特定非営利活動法人 子どもセンター・ピッピー（埼玉県さいたま市）が「コープみらいかがやき大賞」として表彰されました。</p>
3 月 9 日	<p>コープみらい秩父の森 「竹のベンチづくり」</p> 	<p>「竹の間伐体験と竹のベンチづくり」を開催し、組合員とその家族 7 組 16 人が参加しました。森を散策しながら、竹の間伐の必要性を聞いた後、竹を切り倒し、その竹を使ってベンチづくりに挑戦しました。家族で力を合わせて、思い思いのベンチを作りました。参加者からは「親として自然と触れ合う体験をさせたいが、このような自然のありがたみを感じられる体験は良い」「親子で協力して作る楽しさを味わうことができた」「ノコギリやナイフは普段使えないのでよい経験になった」などの感想が寄せられました。</p>
3 月 12 日 ～15・17 日	<p>3 月ブロック別総代会議</p> 	<p>3/12（火）から 5 日間で開催し、2018 年度下期の取り組みを中心に、コープデリ宅配・店舗事業、社会貢献と参加とネットワークの取り組みや 2019 年度各事業の新たな取り組みを報告し、第 7 回通常総代会に向けた議論を積み重ね、議案について総代におおむね理解いただきました</p>
3 月 19 日	<p>新任ブロック委員研修③</p> 	<p>2019 年度は新任ブロック委員 30 人を迎え、組合員理事や職員が講師になり、コープについて、理念・ビジョン、参加とネットワークの方向性、ブロック委員の役割やコープみらいの社会的取り組みなどを学んでいます。今回の第 3 回の内容は活動用の資料を見るには欠かせない、「iPad」の使い方について学びました。最近はスマートフォンの普及も進んでいることから、以前に比べ、1 から学ぶ方も少なくなっており、アンケートでも困惑は少なくなってきたことがわかります。</p>
3 月 27 日 ～29 日	<p>コープみらいオキナワ平和の旅</p> 	<p>沖縄戦の実相と基地問題について学び、平和の課題を考える機会とするために、毎年、「コープみらいオキナワ平和の旅」を実施しています。（日本生協連・沖縄生協連主催の「沖縄戦跡・基地めぐり」へ参加）次世代を担う子どもたちへ平和の大切さを伝え、継承していく事を大切にしています。オキナワ平和の旅には中学生 1 人を含む 16 人が参加し、4/14 には平和の旅の振り返り、学んだこと、平和への想いの共有をする体験報告交流会も予定しています。</p>

## (2) 社会貢献やCSR活動等

- ・2019年度コープみらい奨学生募集(2/11～4/10)
- ・ハンガー・フリー・ワールドによる「書き損じはがき回収キャンペーン」よびかけ
- ・2019年度も引き続き「ヒバクシャ国際署名」に取り組みます

## (3) 組織運営上の政策検討事項等(組織の変更・新設関連の検討状況)

--

## (4) 今後の主な活動予定(次回の活動委員会迄)

月日	会議・催事など	活動内容・予定人数等
4月4日～ 7月31日	第6期コープみらいカレッジ	受講生22人
4月10日	新任ブロック委員研修⑤	新任ブロック委員30人
4月11日	ブロック委員全体会	
4月13日	社会貢献活動助成金 活動交流会	
4月13日	オキナワ平和の旅体験報告交流会	
5月14日～ 5月17日・19日	5月ブロック別総代会議	
5月19日	田んぼの教室(第1回吉川)	
5月23日	就任年数別ブロック委員研修	

## (5) 組合員拡大 2月20日現在

2月度(人)			4月からの累計(人)			当月度末 組合員数
加入	脱退	純増	加入	脱退	純増	
17,125	7,834	9,291	195,223	128,820	66,403	3,480,158

## (6) 組合員組織状況 3月27日現在

班数		サークル数	
専門委員会数(本部)		グループ数(地域クラブ)	155(1,502人)
支部・運営委員会数	8ブロック (埼玉エリア)	支部・運営員数	116人 (ブロック委員)

## 2. 事業報告 2月20日現在

2月度		4月より累計	
事業高	前年比	事業高	前年比
34,405,720千円	102.1%	361,691,009千円	100.6%

活動委員会用 単協組織・事業活動報告書（県生協連様）

4 月度

1. 組織活動報告

(1) 主な組合員活動等（2 月 1 日～3 月 31 日）

生協名	パルシステム埼玉
報告者	石川 誠

月日	会議・催事など	参加人数・活動内容・特徴など
2/11	エコライフフェスタ in 朝霞 	朝霞市産業文化センターでエコライフフェスタ in 朝霞を開催し 100 名の参加がありました。当日は多くの組合員が来場し、パルシステムでんきブース、共済ブース、パルシステム商品の試食・販売、木育キッズエリア、石けん作り・3R ブースをまわり、「環境」について意識を高め、子どもたちも遊びながら学べる機会となりました。
2/16 2/18	親子で簡単「和菓子作り」 	和菓子作り教室を開催しました。食育サポーターの料理教室は、毎回多くの方が参加する好評企画です。両日とも「さつまいもの蒸し羊かん」と「桃白玉」を作りました。さつまいもの蒸し羊かんは、パルシステムの PB 商品『産直小豆のゆであずき』に薄力粉と上新粉を混ぜ合わせたところに、切ったさつまいもを加えて蒸すだけの簡単調理。ほっくりとするやさしい甘さに仕上がりました。 16 日（土）参加 41 名、18 日（月）参加 32 名
2/22	シニアの居場所づくり座談会	どのような居場所づくり（企画）が必要なのかの情報収集を行うために、試食も学習会も用意せず、ただ、地域活動室の職員と話すだけの企画に 4 名の参加がありました。参加理由は「何も無いのが良かった」「誰かと知り合えるかと思って」「なんとなく」「空き家でサロンをやってくれる人を探しに」。居場所や知人をつくりたいと思っていても、自宅周辺での集まりには参加したくないとのことでした。
2/23	映画「0 円キッチン」上映会 	ウェスタ川越で、「0 円キッチン上映会」を開催し 45 名が参加しました。「0 円キッチン」は“フードロス”をテーマに扱い、食材救出人のダーヴィドがヨーロッパ 5 カ国を回りながら、廃棄食材しか食べずに旅をするという内容です。ダーヴィドが問題提起している数々は日本にも置き換えられることで、さまざまな視点から考えさせられる映画でした。例えば、スーパーやコンビニ、家庭では賞味期限切れなどの廃棄食材が毎日出ています。まだまだ食べられる食材をすぐに捨てるのか、それとも美味しく食べられるよう救出するのか…1 人 1 人の意識が変わることで、改善できることもあると映画では訴えかけています。ダーヴィドの前向きな姿勢は、参加者の食糧危機への意識を高め、自分たちでできることを考えるきっかけとなりました。
2/23	東日本大震災復興支援助成金贈呈式 	2018 年度の東日本大震災復興支援助成金の贈呈式を 24 名の参加で開催しました。田原理事長より助成が決定した 4 団体に目録が手渡され、昨年度に助成を行った 3 団体から 2018 年度の活動報告をいただきました。贈呈式のあとは参加者同士の交流会を行い、東日本大震災復興に関する最近の動向など情報交換を行いました。 (4 団体 136 万 5,000 円)
3/8	第 30 回パルシステム埼玉生産者・消費者交流会 	ラフレさいたま（さいたま市）で「第 30 回パルシステム埼玉 生産者・消費者交流会」を開催しました。パルシステムの産直は、「つくる人」と「食べる人」がともに健康で安心な暮らしを実現し、環境保全・資源循環型を基本に食と農をつないで、豊かで持続的な地域社会をつくることを目指しています。この交流会は、全国のパルシステムの産直産地の生産者と組合員が直接話して理解を深め合える場となっており、毎年多くの組合員が楽しみに参加します。30 回目の節目を迎える今年は、「これぞ産直！！～産地と食卓が育む未来～」をテーマに開催し、生産者 58 名、組合員 51 名、役職員 38 名のあわせて 147 名が参加しました。

3/26	市民活動支援金贈呈式&報告・交流会	2018 年度パルシステム埼玉市民活動支援金贈呈式&報告・交流会に 31 名が参加し、2018 年度助成が決定した 6 団体に対して目録贈呈を執り行いました。応募 29 団体のうち、市民活動支援金運営委員会による書類選考、公開選考会を経て決定した 6 団体に、総額 200 万円の支援金を贈呈しました。その後、2017 年度助成団体 7 団体から活動報告をいただきました。後半は昨年度助成を受けた団体より活動報告が行われ、交流会では各団体がブースで、自分たちの活動の P R や情報交換など団体間の交流を深めました。この間、市民活動支援金運営委員での中間視察や、団体のプロジェクト企画への参加等をつうじて団体との連携につながっています。
------	-------------------	--

## (2) 社会貢献や C S R 活動等

1. ばる★てらす「親子ふれあいサロン」毎週金曜日に開催 2018 年度実績 開催 50 回 延べ参加 1,231 名 (2017 年度 開催 51 回 延べ参加 654 名)
2. いきいきネットワーク 2018 年 3 月～2019 年 2 月 4,878 時間 前年比 95.9% (前年 5,088 時間)

## (3) 組織運営上の政策検討事項等 (組織の変更・新設関連の検討状況)

--

## (4) 今後の主な活動予定 (次回の活動委員会迄)

月日	会議・催事など	活動内容・予定人数等
4/4	学んで、選ぼう！パルの産直！	学習会
4/25	あなたの手を貸してください！	登録説明会
5/18	2019 年度「田んぼ交流」参加者を大募集！	農業体験・交流
5/25～26	新幹線で行く！山形庄内の田植え体験&たけのこ掘り	産地交流

## (5) 組合員拡大 1 月末日現在 ※ ( ) 内 予算比

2 月度 (人)			4 月からの累計 (人)			当月度末 組合員数
加入	脱退	純増	加入	脱退	純増	
2,219 (96.4%)	1,689 (106.6%)	530 (74.0%)	28,286 (99.1%)	20,677 (97.9%)	7,609 (102.7%)	204,236

## (6) 組合員組織状況 (各単協に合わせて、名称等変更してご記入ください)

テーマ委員会数	5	テーマグループ数	12
地区会数	25	エリア委員会数	4
サークル数	83 (65/18)	委員数	226

## 2. 事業報告

2 月度		4 月より累計	
受注高	前年比	事業高	前年比
2,059,600 千円	103.9%	24,242,505 千円	99.5%

以上

活動委員会用 単協組織・事業活動報告書（県生協連御中）

3 月度報告

生協名	生活クラブ生協
報告者	（作成）事務局 金津

1. 組織活動報告

（1）主な組合員活動等（ 3 月 ）

※理事会および県内の生活クラブ運動グループ主催の活動よりご報告します。

月日	会議・催事など	参加人数・活動内容・特徴など
3/1	3.11 を振り返る 講演会 & 甲状腺検査活動説明会	3.11 後のエネルギー自治を考える講演会。会津電力の佐藤彌右衛門氏）による発電および福島の実状、生活クラブの甲状腺検査活動に関する説明、これまでの評価などを会津放射能情報センターの片岡輝美氏らを招いて共有した。
3/3	消費者被害防止サポーター 養成講座 （越谷）	越谷生活館にて、当日の受講者 5 名（登録 5 名）
3/24	連続講座：食と環境カレッジ 2018 最終回 「プラスチックスープの海」	地球全体で進むプラスチックによる海洋汚染の最新情報、そのリスクを学び、私たちの暮らし方や事業のあり方をどう変えるのか、大きな示唆を受けた。 講師は高田秀重教授（東京農工大学）
3/30	講演会「メディアにむしばまれる 子どもたち」	（独行）国立病院機構の医療センター小児科部長を務めた田澤医師により、テレビ・DVD・ゲーム・パソコン・スマホ等によって影響を受け続ける子どもたちの生活上の課題、健やかな育ちのための工夫や取組みを学んだ。 エコロ基金たすけあい助成による開催。
3/31	自然観察 i n 浦和西高斜面林	自然保護活動に取り組む組合員のスズズズズズキルと組織活動のタイアップ企画。森と水の実行委員会と地元支部の共催で、身近なのに案外知らない自然の魅力を体感する企画。
3/1～ 3/24	支部大会・ブロック大会 組合員意見交換会（全ブロック）	55 の全支部で支部大会、6 つのブロックでブロック大会を開催。ブロック大会に引き続き、総代を中心に、総代会議案書の内容に関する質疑、意見交換を行った。

（2）社会貢献やCSR活動等

- ・復興支援活動にむけてのカンパ募集（保養ツアー・甲状腺検査）
- ・「子ども脱ひばく裁判」への公正な審議と判決を求める署名活動への参加
- ・県議会議員選挙 立候補予定者へ放射能汚染対策・エネルギー政策・原発に関する政策提案

（3）組織運営上の政策検討事項等（組織の変更・新設関連の検討状況）

- ・2019 年度デポー（店舗）をさいたま市南区付近を中心とするエリアで開設準備中

(4) 今後の主な活動予定 (次回の活動委員会迄)

月日	会議・催事など	活動内容・予定人数等
5/14~15	加工トマト定植作業	長野県飯縄高原にて、加工用トマト生産農家の農作業を手伝う。＝実際に役に立つ援農の取組み
6/18	総代会	第 45 回

(5) 組合員拡大 3月 31日現在

3 月度 (人)			4 月からの累計 (人)			当月度末 組合員数
加入	脱退	純増	加入	脱退	純増	
208	396	-188	3,605	4,024	-419	32,331

(6) 組合員組織状況(各単協に合わせて、名称等変更してご記入ください)

班数	798	サークル数	連 : 243
専門委員会数(本部)	24	グループ数	
支部・運営委員会数	55 支部	支部・運営委員数	720 名

## 2. 事業報告

2 月度		4 月より累計	
事業高	前年比	事業高	前年比
736,220 千円	102.04%	8,559,920 千円	104.16%

## 活動委員会用 単協組織・事業活動報告書（県生協連行き）

4月度

生協名	医療生協さいたま
報告者	村崎 郁子

## 1、組織活動報告

(1) 主な組合員活動等（ 3月 1日～ 4月 3日）

月 日	会議・催事名称	参加人数・活動内容・特徴等
3月2日	上映会「原発の町を追われて」	組合員職員103人の参加でした。上映後堀切監督と出演者の鶴沼久江さんより映画にかけた思いをお話しいただきました。「原発事故から8年経過したが風化させてはいけない」「マスコミの伝えない原発を巡る状況などを知ることができた」など参加者から感想が寄せられました。
3月9日	埼玉西協同病院増床建設訪問行動	埼玉西協同病院増床・歯科オープンを地域の方にお知らせする統一訪問行動を行い、職員・組合員あわせて、総勢91名の参加、訪問件数849件・対話件数361件・加入1件・増資12件でした。入院したときに、差額ベッド代がなく、とても助かりました。近くに安心できる歯科ができて、とても心強い。ぜひ利用してみたいです！」など声が寄せられました。
3月10日	介護活動交流集会	テーマ：「未来を創る介護と医療」～自分らしい暮らしをつなぐケア～で210名の参加（職種内訳：看護17・介護100・ケアマネ60・セラピスト6・社会福祉士2・その他25）で開きました。学習講演をペ ホス（裴 鎬洙）氏による「理由を探る認知症ケア～本人目線で暮らしを支えるということ～」で行いました。66演題を6つの分散会で発表交流しました。
3月16日	埼玉協同病院40周年記念市民公開講座「一人で悩まずみんなで子育て」	イオンモール川口前川店で「大丈夫!?あなたのおうち～知ってもらいたい子どもに起きやすい事故のはなし」平澤薫小児科医師による講演、専門家との交流コーナー、子育てサークル紹介子どもの遊び体験コーナーなどをもち開き50人ほどの参加でした。
3月16日	行田協立診療所子育て応援企画 市民公開講座「気になるスマホと生活リズム」	行田商工センターで「気になるスマホと生活リズムの話」とし、熊谷生協病院院長で小児科医の小堀医師のお話。地域で学童保育を運営する方の参加や養護の先生の参加もあり、行田エリアを子育てをしやすい環境にしていこうという熱意ある内容となりました託児スペースでは竹細工などで作って子ども達のお土産にしました。参加者は全体で50名ほど
3月16日	認知症の予防～介護実践 戸塚公民館	認知症ケアチームによる市民公開講座を①認知症予防運動、認知症検査の体験②社会福祉制度、薬について③摂食嚥下、食事形態の体験④看護師による個別相談会の内容で開きました。19人の参加。
3月17日	埼玉西協同病院増築棟竣工式	50小増築し、歯科を新規開設しました。所沢市長、医師会、歯科医師会、薬剤師会、近隣の病院・介護施設、自治会会長、支部組合員さん 計106名の参加がありました。竣工式で病院紹介DVDを鑑賞し、終了後は新館2階を内覧。祝賀会では職員による部門紹介を行いこれから目指していく埼玉西協同病院をアピールしました。「地域包括ケアを推進する病院」「病気でなくても行きたくなる病院」「人を育てる働きやすい病院」を目指しています。
3月17日	子ども☆夢☆未フェスティバル	生協として初めて参加しました。ナースなりきり体験、握力選手権、看護師、助産師、認定看護師による子育て相談や乳がん自己チェックなどで参加しました。全体1万人以上医療生協のブースには250組の親子が参加しました。
3月19日	多世代食堂「みんなでランチ」プレオープン	一人暮らしの高齢者の引きこもり防止の一助に皆で楽しくご飯を食べる会として、オレンジサロンまつで10名程度をする予定のプレオープン。高齢福祉課・福祉総合支援チーム、民生委員などお知らせし試食会を行った。
3月30日	秩父多世代ふれあい食堂第2回	0～95歳までの方70名ほど参加し、カレーランチと音楽を楽しみました。阿保町会館で開き、町会長のあいさつ、ご町内の方も多く参加していただきました。ピアノとチェロの演奏は洗足学園大のセントモのみなさんでした。その他、カンパ、お米や野菜などもいただき多くの方のお手伝いがありました。
4月1日	入職式	医師 8人、歯科医師 1人、看護職 約40人など計 88人が入職。入職式の後、研修を行い組合員理事との交流を行いました。



(2) 社会貢献やCSR活動等

・無料低額診療事業事例集発行準備中(5月発行予定)。

(3) 組織運営上の政策検討事項等(組織の変更・新設関連や検討状況)

4月1日より埼玉西協同病院増床稼働&歯科開設、訪問看護リハビリステーションこころハ(熊谷)開設  
4月1日より支部活動拠点(越谷支部・川越東支部)で立ち上げ  
4月中に狭山市でくらしサポーター制度立ち上げ  
・地域で医療生協を広げ支部活動の活性化のための組合員活動推進員を4月7人に委嘱し、研修終了後、活動が始まる。

(4) 今後の主な活動予定(次回の活動委員会迄)

月 日	会議・催事名称	内容・予定人数等
4月6日	県北組合員活動交流集会	テーマ「やっぱり大好き医療生協」とし、記念講演「医師の眼からみた地域(まちづくり)づくりと組合員への期待」を小堀医師(熊谷生協病院院長)の講演と4つの支部からの報告をおこない、交流する。
4月21日	健康ウォークフェスタ	越谷レイクタウン駅近くの大相模調節池親水公園で健康づくりを始めるきっかけになるように、また参加費の一部を災害復興支援に送る目的で開催。参加約2,000人予定。
5月10～17日	地区別総代会	総代会議案の事前説明。全県14会場で開催。

(5) 組合員拡大・ 3月 末日現在 (3月31日到着分)

当月度(人)			4月からの累計(人)			当月度末 組合員数
拡大	脱退	純増	拡大	脱退	純増	
684	1,574	-890	10,270	4,806	5,464	233,848

(6) 組合員組織状況 3月 末日現在 (3月31日到着分)

班 数	1,461	サークル数	17
専門委員会数(本部) (支部)		グループ数	12
支部・運営委員会数	158	支部・運営員数	1,215

運営委員会にはエリア会含む。

2、事業報告 2月決算

当 月 度		4月より累計	
事業高	前年比	事業高	前年比
1,762,397(千)円	104.3%	20,694,411(千)円	105.2%

この報告書は活動委員会前日までに県生協連に送付ください。fax048-844-8973

活動委員会用 単協組織・事業活動報告書（県生協連行き）

生協名	埼玉県労働者共済生協
報告者	塩崎 輝幸

2～3月度

1. 組織活動報告

(1) 主な組合員活動等

月日	会議・催事など	参加人数・活動内容・特徴など
3月28日	埼玉労済理事会および全労済埼玉推進本部代表委員会	<p>&lt;主な議題&gt;</p> <p>1. 報告事項</p> <p>(1)2018 年度 関東統括本部／埼玉推進本部 2018 年 6 月～2019 年 2 月進捗報告について</p> <p>(2)2018 年度 第 2 回「労済デー」実施報告について</p> <p>(3)レインボー・バトン運動 埼玉推進本部「東京マラソン 2019」報告について</p> <p>(4)創立 60 周年を契機とした「全労済文化フェスティバル」の募集結果について</p> <p>(5)&lt;共済代理店会&gt;「2018 年度 年度末総仕上げキャンペーン」の展開について</p> <p>2. 協議事項</p> <p>(1)2019 年度 関東統括本部・埼玉推進本部 推進活動計画（案）について</p> <p>(2)地区共済会運営規則・地区共済会活動予算基準・地区運営委員会運営規則改定（案）について</p>
3月17日	こども☆夢☆未来フェスティバル 2019（協賛）	伊奈町「埼玉県県民活動総合センター」にて開催 コイン落としゲーム、ぬり絵体験教室、保障の相談窓口を実施
概況	<p>1. 2018 年度 事業状況について（2019 年 1 月末実績）</p> <p>2019 年 1 月末の事業状況は、総件数 1,092,089 件、総口数 148,633,180 口となりました。対期首では件数で-62 件、口数で+7,564 口となりました。</p> <p>対期首で口数が増加している共済は、火災共済（件数は減少）・自然災害共済、交通災害共済、自賠責共済、慶弔共済です。</p> <p>一方、減少している共済は、団体生命共済（件数は増加）、こくみん共済、自動車共済、長期系共済となっています。</p> <p>2. 2018 年度 給付実績について（2019 年 1 月末実績）</p> <p>2019 年 1 月末の給付実績は、2018 年度累計件数 48,895 件 累計支払金額 7,946,865,002 円となり、対前年同期比 2,082 件増（+4.45%） 243,445,334 円増（+3.16%）となっています。</p> <p>対前年同期比で支払額が増加している共済は、火災共済、自然災害共済、自動車共済（件数は減少）、交通災害共済、終身共済（医療特約）、ねんきん共済となっています。</p> <p>一方、対前年同期比で支払額が減少している共済は、自賠責共済、団体生命共済（件数は増加）、こくみん共済、個人長期（死亡・入院・満期等）、終身共済（基本・災害、介護・生存・長寿特約）となっています。</p>	

概況	<p>3. 「マイカー共済」および「下期 住まいる共済」取組強化期間について</p> <p>2019年1月～3月において「マイカー共済」、2月～3月(フォロー期間4月)において「住まいる共済」の取組強化期間を実施しています。マイカー共済は1月の制度改定を踏まえ「見積み感謝キャンペーン」を実施し、キャンペーン期間中の見積み数に応じて「横断旗」を寄贈する社会貢献活動を合わせて行っています。住まいる共済は昨年相次いだ自然災害の発生状況を踏まえ、地震・雪害に対する備えや転居・住宅購入・退職等にかかわらず継続利用できることなど「お役立ち」を訴求した取り組みを行っています。</p> <p>4. 組織拡大・運動強化月間について</p> <p>2019年3月～5月において「組織拡大・運動強化月間」を実施しています。「慶事タイプを中心とした慶弔共済」ならびに「団体生命共済の退職後の継続利用促進に向けた一律20口」の統一提案を行っています。また、「東日本大震災の発災日」かつ「埼玉労済創立日」である3月11日に自然災害への備えを訴求するため「第2回労済デー」を実施し、駅頭チラシ配布、ポスティング活動を行いました。</p> <p>5. 第46回「小学生作品コンクール」表彰式開催</p> <p>子どもたちの豊かな心の成長を願う社会貢献活動として、第46回小学生作品コンクールを実施し、2019年2月23日(土)全労済埼玉推進本部会館にて表彰式を開催しました(参加人数:ご家族、先生含めて104名)。埼玉県内の小学生の皆さまから作文・版画の両部門において1,408点(28校)の応募をいただき、全労済埼玉推進本部長賞ならびに埼玉県知事賞をはじめとした各賞を表彰しました。</p> <p>6. 被災受付状況および共済金等支払い状況について(2019年3月28日現在)</p> <p>昨年の相次ぐ自然災害により、被災された皆さまに謹んでお見舞い申し上げます。全労済では一日も早い共済金のお支払いに向けた対応に注力しています。被災受付・共済金支払い状況について、以下のとおり報告いたします。</p> <p>(1)「大阪府北部を震源とする地震」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①受付件数 13,860 件</li> <li>②支払共済金額 5,324,134,000 円</li> </ul> <p>(2)「2018年台風20号 21号 24号 25号合計」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①受付件数 136,010 件</li> <li>②支払共済金額 35,288,186,521 円</li> </ul> <p>(3)「2018年北海道胆振東部地震」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①被災受付件数 3,847 件</li> <li>②支払共済金額 1,100,641,000 円</li> </ul>
----	--

## (2) 社会貢献やCSR活動等

- ・ 第46回全労済小学生作品コンクール  
版画審査会(1月23日)、作文審査会(1月24日)、表彰式(2月26日)

(3) 組織運営上の政策検討事項等（組織の変更・新設関連の検討状況）

・新ブランド「こくみん共済 coop」

全労済は中期経営政策「New-Zetwork」（2018年度から2021年度）において、「Zetworkスタイル」として「お役立ち」発想と「共創」活動で事業と運動を展開しています。その取り組みのひとつとして、全労済をもっと多くの方々に親しんでいただき、愛される存在となるため、2019年6月より新しいブランドを活用していくこととしました。

新ブランド「こくみん共済 coop」は労働者自主福祉を核としながら、その取り組みをさらに広げ「こくみんみんなのために、共済というたすけあいの仕組みを提供する、協同組合（coop）である」ことを表しています。

・共済ショップぐりんぼう浦和店の閉店

2019年5月31日をもって閉店し、ご契約は大宮店・さいたま店に統合（移管）します。

(4) 今後の主な活動予定（次回の活動委員会迄）

月日	会議・催事など	活動内容・予定人数等
5月10日	埼玉労済理事会および全労済埼玉推進本部代表委員会	

(5) 組合員拡大 月 日現在

月度（人）			4月からの累計（人）			当月度末 組合員数
加入	脱退	純増	加入	脱退	純増	

(6) 組合員組織状況（各単協に合わせて、名称等変更してご記入ください）

班数		サークル数	
専門委員会数（本部）		グループ数	
支部・運営委員会数		支部・運営員数	

2. 事業報告（慶弔共済）

2018年5月末累計		2019年2月末累計	
件数	口数	件数	口数
58,957	223,469	61,761	230,985
		2804 件増	7516 口増

活動委員会用 単協組織・事業活動報告書（県生協連行き）

2 月度

1. 組織活動報告

(1) 主な組合員活動等（2月23日～4月1日）

生協名	東都生協
報告者	荒井 伸幸

月日	会議・催事など	参加人数・活動内容・特徴など
2/18(月) ～	2019 年度地域コーディネーター 研修・内定	35 人内定（新規 17 人・継続 18 人）
2/23(土)	第 2 地域平和募金企画「あーす ぶらざ」に行ってみよう開催	平和募金を活用し、神奈川県地球市民かながわプラザ「あーすぶらざ」で戦争体験の方の開設を聞きながら展示物の観覧、子ども向け戦争短編映画鑑賞。参加 21 人 ※全 9 地域で地域での平和募金を活用した企画終了
2/28(木)	2019 ピースアクションキックオフ 集会参加（展示）	ひと裁ち折りのハートのメッセージカードの作り方、「戦争ほうき」も作り方、第 15 回東都生協平和のつどいの様子など展示
3/7～ 8(金)	東日本大震災被災地視察 ～ 東日本大震災を忘れない～	東日本大震災被災地支援募金を活用し、福島県の被災地の現状を知り、これからを考えるをテーマに、コープふくしま様にご協力いただき、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町を視察・学習を行いました。（参加 22 人）
3/15(金)	印鑰智哉さんに聞く「種子から 考える、私たちの未来」学習会	印鑰智哉氏（日本の種子を守る会・事務局アドバイザー）を講師に、「種子から考える私たちの未来」というテーマで学習会を行いました。（参加 41 名）
3/17(日)	産直体験ツアー千葉北部酪農 協	新組合員対象の交流・体験ツアー（参加 20 人）
3/24(日)	埼玉産直センタートマト交流	（参加 32 人）
3/24(日)	野菜を育てよう①（農）埼玉西 部産直グループ	野菜を育てよう連続企画 1 回目（参加 26 人）
3/30(土)	ワーカーズ・コープ連絡会学習 会「協同で仕事をおこす・とも に働く協同労働の可能性」	高成田健氏（日本労働者協同組合連合会事務局長）を講師に、「雇用労働」と「協同労働の違い」、「協同労働」という働き方、「ワーカーズコープ」の立ち上げ方やその運営などを行いました。（参加 22 名）
4/1(月)	2019 年度スタートの会 地域委員会全体会	9 地域・新体制で合同で全体会を開催。（参加 59 人/理事・地域コーディネーター・地域委員会事務局職員・組織運営部職員）

(2) 社会貢献やCSR活動等

【署名】

きょうされん第 42 国会請願署名 5,548 筆（4 月 3 日現在）

【募金】

◇2018 年度東日本大震災支援募金状況

・組合員募金 1,019,000 円（3 月 6 日現在） ・1 点 1 円募金 29,858 円（3 月 6 日現在）

◇未来につなぐ募金状況（2 月 6 日現在） 6,018,000 円

2018 年度助成予定額（上限）：1,370,000 円

◇平和募金状況 1,969,000 円（2 月 6 日現在）

【さんぽんすぎセンターるんるんズカフェ】

・通常カフェ（毎週） ・健康体操・健康チェック（月 1 回） ・子ども食堂（月 1 回）

【意見書】

・ゲノム編集技術を利用して得られた食品等の食品衛生上の取扱い（案）に対する意見書を、2 月 18 日に厚生労働省へ提出

【その他】

◇フードドライブ取り組み報告（NPO 法人シェア・マインド実施）

・対象センター：国立（多摩市在住組合員） 2/18（月）～3/1（金）

・寄付食品：182 点、総重量 50.5kg

◇認知症サポーター養成講座

全センター終了 40 講座 受講者（認知症サポーター）398 人

◇東京保健生協との連携 誰でもできる「居場所」カフェふらっと（毎月第 2 水曜開催）

3/13（水）参加 27 人（うち、東京保健組合員 9 人・東都生協組合員 3 人）

## (3) 組織運営上の政策検討事項等(組織の変更・新設関連の検討状況)

- ・第9次中期計画延長
- ・基幹システム刷新
- ・組合員活動しくみ見直し(業務組織の組合員活動への支援の関わり方変更)

## (4) 今後の主な活動予定(次回の活動委員会迄)

月日	会議・催事など	活動内容・予定人数等
5/15(水)～	2019 年前期ブロック会計学習会	新任会計担当向け含め計4会場で開催予定 ブロック会計処理の説明、質疑応答、交流、個別 の質問対応等
5/11(土)	東都生協くらしのたすけあいの会ほと はんど総会	2018 年度活動報告、2019 年度活動計画
5/31～6/1 (土)	夏の No2 測定	身近なところの空気を実際に測ってみて自分た ちで確かめる活動。継続測定者・組合員情報紙で 募集
6/1～4(火)	第3 回総代会議	全 12 会場
6/7(金)～	商品丸わかり学習会	商品部職員を講師に地域で学習会を開催予定
6/17(月)～	「心をつなぐもーもータオルキャン ペーン」	八千代牛乳の価値を学び広め、産地へタオルを贈るこ とを通して酪農家を応援しつながりを深める

## (5) 組合員拡大 2月20日現在

2018年度 新規加入件数実績										
	2月度(単月)					年間(累計)				
	実績	予算比	前年比	予算数値	前年	実績	予算比	前年比	予算数値	前年
センター加入総体	1,485	82.73%	101.85%	1,795	1,458	18,825	100.55%	116.00%	18,722	16,228
We b 加入システム	94	125.33%	313.33%	75	30	581	90.78%	223.46%	640	260
他部署加入受付	0	—	—	—	0	0	—	0.00%	0	3
無店舗加入合計	1,579	84.44%	106.12%	1,870	1,488	19,406	100.23%	117.68%	19,362	16,491
都内	1,183	—	110.77%	—	1,068	14,106	—	120.01%	—	11,754
都外	396	—	94.29%	—	420	5,300	—	111.89%	—	4,737
都外内訳										
埼玉県	83	—	79.81%	—	104	1,196	—	163.17%	—	733
神奈川県	293	—	100.34%	—	292	3,763	—	102.51%	—	3,671
千葉県	20	—	83.33%	—	24	341	—	102.40%	—	333
員外	1	—	100.00%	—	1	57	—	79.17%	—	72
脱退	1,392	134.88%	134.88%	1,032	1,032	13,587	119.06%	119.06%	11,412	11,412
純増	187	22.32%	41.01%	838	456	5,819	73.19%	114.57%	7,950	5,079

## (6) 組合員組織状況(各単協に合わせて、名称等変更してご記入ください)

地域	9	保育ママ	77 人(内、新規 24 人)
ブロック委員会数	114/287・578 人	東都人材バンク講師	37 人(登録件数 54)
とーと会数	76・478 人	サポーター	196 人
サークル数	25・119 人		

## 2. 事業報告

区 分	単 月			累 計		
	実績	前年比	予算比	実績	前年比	予算比
供給高	2,693,269	102.3%	96.8%	28,411,067	99.4%	99.5%
その他事業収入	63,585	104.6%	106.5%	669,724	99.0%	98.0%
総事業高	2,756,854	102.4%	97.0%	29,080,791	99.4%	99.5%
事業総剰余金	732,070	102.7%	99.1%	7,630,446	100.6%	100.0%
事業経費合計	717,545	98.9%	98.3%	7,922,344	99.7%	100.1%
人件費	348,344	96.3%	98.1%	3,786,385	98.8%	98.4%
物件費	369,201	101.5%	98.5%	4,135,960	100.6%	101.6%
経常剰余金	38,451	305.0%	129.3%	▲ 7,451	8.0%	15.9%
稼働日数	23 日	(前年=22 日)		241 日	(前年=241 日)	

※百円単位で四捨五入しているため、合計が合わない場合があります。(実績の単位:千円)

## 配食事業 1 月度

		2 月度単月			2018 年度累計 (4 月～2 月度)		
		実績(千円)	予算比	前年比	実績(千円)	予算比	前年比
供給高	弁当	4,715	109.5%	115.9%	46,651	123.7%	109.4%
	おかず	12,829	68.7%	120.2%	121,702	74.5%	109.3%
	国産応援ご膳	7,186	97.5%	123.1%	68,830	106.8%	113.8%
	冷凍弁当	26	3.5%	0.0%	26	0.5%	0.0%
	合計	24,756	79.6%	120.3%	237,209	87.4%	110.6%
配食数	弁当	8,764	107.8%	114.8%	86,713	122.0%	106.2%
	おかず	23,846	67.7%	119.5%	226,227	73.4%	106.0%
	国産応援ご膳	10,239	94.5%	121.9%	98,056	103.4%	112.6%
	冷凍弁当	19	3.2%	0.0%	0	0.4%	0.0%
	合計	42,868	78.3%	119.1%	411,015	85.9%	107.6%
延べ登録人数		121,344	66.6%	102.9%	1,423,019	88.8%	122.2%
延べ利用人数		31,934	73.1%	112.0%	316,120	82.7%	107.5%
稼働日		22	100.0%	104.8%	221	100.0%	99.1%
1 日当配食数		1,949	78.3%	113.7%	1,860	85.9%	108.5%

2 月度 (2/20) 現在の登録人数は、7,190 名

# くらしの学校 2019 カリキュラム 改訂案

## 1. 「くらしの学校」の意義と目的

- ① くらしに役立つ医療・介護・福祉の知識について、学びます。
- ② 医療生協のめざす安心・安全の「まちづくり」に参加するきっかけとします。
- ③ くらしや社会保障、人権に関わる学びを通して主権者としての自覚と成長を育む機会とします。
- ④ 自主的・主体的に医療生協活動に関わる組合員を生み出す場とします。

### ◆参加者の視点から（「くらしの学校」の魅力）

- ① くらしに役立つ医療・介護・福祉について、学び体験することができます。
- ② 「誰かの役に立ちたい」 一歩を踏み出す力を身につけることができます。
- ③ 新しい仲間と出会い、「地域デビュー」のきっかけにできます。

略



## テーマ① 「子どもを独りぼっちにしないまちづくり（案）」

【枠組み】2時間30分×4回、各講座は質疑応答を含んで60分程度を基本にする。

【学びたいこと】子どもの権利。子どもの貧困問題。

【運営方式】カフェ・スタイル（方式） 講座の中でもグループ・ワークでの感想交流や質疑を組み込み、講師と参加者の個別の質疑だけでなく、小グループで質問や感想を気軽におしゃべりする。

	講座のテーマ・内容	講師、資材など
1回目	講座「子どもの命は未来の宝～子どもの貧困問題を学ぼう～」(45～50分) 貧困ってホントあるの？	子どもの未来アクション アンバサダー (内部) 組織担当、まち課 (外部)
	講座「支え合い・助け合いのまちづくり～子ども食堂（多世代食堂）、フードバンク・フードドライブ」(45～50分) 地域の居場所づくり、安心ルームなど	(外部) 子ども食堂の実践者 (内部) 子ども食堂実践する組合員 組織担当者、まち課
	GW (30分) 感想交流	
	個人ワーク・感想記入 (10分)	
2回目	講座「遊びと子どもの発達、子育てとスマホ、ネット時代の子育て」(45～50分)	(外部) 教育・保育関係者 (内部) 保育士
	講座「子どもの事故と対応」(45～50分)	(内部) 医師、看護師
	GW (30分) 感想交流	
	個人ワーク・感想記入 (10分)	
3回目	講座「子どもの虐待～医療の現場から」 しつけと虐待、アンガー・マネージメント (45～50分)	(内部) 埼玉協同病院「虐待防止チーム」
	講座「知って得する保育・教育のお金の話し（補助・助成制度）（＋医療）」 (45～50分)	(内部) SW
	GW (30分) 感想交流	
	個人ワーク・感想記入 (10分)	
4回目	講座「医療生協の取り組み紹介」(30分)	推進員説明会パワーポイントなど
	GW「子どもが健やかに育つまちづくり」 KJ法 (100～110分)	(内部) 組織担当、まち課
	個人ワーク・感想記入 (10分)	
選択・別コース 講座「若者世代の生きづらさ」 講座「引きこもり」		

	A	B	C	D	F
1		2018年度 医療生協さいたまの子どもに関わる取り組み			
2		事業所	実施日 ※定例の場合は曜日・時間など	対象者	内容・参加数など
3	県中	おおみや	毎月第2土	②地域住民・組合員	わいわいランチ
4	県西	大井	毎月第3火 16:30~20:00	②地域住民・組合員	ココロンくらぶ（多世代コミュニティーキッチン）
5	県西	所診 桂の樹	毎月第3金 4/20・5/18・ 6/15・7/20	②地域住民・組合員	多世代食堂桂ん家毎月第3金曜日
6	県西	さんとも 西協同	毎月第4金 17:30~19:00	②地域住民・組合員	多世代参加型子ども食堂 みんなで晩ごはんさんとめキララ 参加者：計35人
7	県西	CCとこし ん	6月8日（金）	②地域住民・組合員	小児の救急対応・10名
8	県南	協同	6月19（火）	①患者・利用者	子育てcafé 5組
9	県北	秩父	7月1日（日）	②地域住民・組合員	多世代ふれあい食堂
10	県西	西協同	7月2日（月）	④その他（中富小学校2 年生2クラス）	・聴診器をつかって心臓の音を聞く・病院内を探検し ながら病院を体験する。 ：計48人
11	県西	あさか虹	7月22日（日）	②地域住民・組合員	夏休み子ども保健教室 虫歯の予防とブラッシングについて
12	県西	さんとも 西協同	7/24~8/28限定 毎週火曜 11時~13時	②地域住民・組合員	名称「サマーランチ」多世代参加こども食堂の夏休み ランチ版 参加者：計26人
13	県西	桂の樹	7月25日（水） 夏休み中 毎週水曜	②地域住民・組合員	夏休み特別企画サマーランチ。夏休みの子供たち対 象。一緒に昼ご飯を作って食べましょうという企画。 子供15人+職員+ボランティア
14	県北	行田	7月31日（火）	②地域住民・組合員	学童への歯磨き教室 10人
15	県南	かすかべ	8月3日（金）	④その他（学童保育）	いのちの授業（42人） 助産師
16	県西	桂の樹	8月24日 （金）	②地域住民・組合員	多世代食堂桂の家 夏の合同企画 所沢市内の子供食堂とのコラボ企画。合同で、流しそ うめん、花火大会をしました。 参加者：80名
17	県北	行田	8月10日（金）	①患者・利用者 ②地域住民・組合員	夏休みこども歯科教室 15名参加+組員
18	県西	あさか虹	9月12日（水）	④その他 （保育園児）	虫歯の予防と歯の磨き方 参加：35名（教員4名）
19	県北	熊谷	6月2日	地域	子育てネット「熱中症」
20	県北	熊谷	6月28日	地域	子育てネット「ママの健康チェック」
21	県北	熊谷	8月17日	地域	こども保健教室
22	県南	さいわい	8月18日（土）	地域	こども健康教室 参加者21名
23	県西	あさか虹	10月7日（日）	②地域住民・組合員	虫歯の予防と歯の磨き方（フッ素について） 参加：15名